

日本史後期中間まとめ

橋本 千聡

テスト範囲

- 教科書 P167～P218
- プリント
 - － 都市と商業・手工業
 - － 幕政の改革
 - － 幕府の衰退と近代への道

出題形式

- 呉軍問題 (60 点)
- 正誤問題 (30 点)
- 筆記問題 (10 点)

都市と商業・手工業

村と百姓

(1) 村の運営

- 本百姓: 検地帳に登録、年貢・諸役を負担、村政に参加
- 村方三役 (名主・組頭・百姓代): 村政の指導者、本百姓から選ばれることが多い

(2) 百姓の負担

- 本途物成 (本年貢): 田畑・屋敷地に課税、米納が原則 (4~5 割)
- 小物成: 山野河海の利用、農業以外の副業に課税

(3) 百姓の統制

- 村請制: 年貢・諸役の負担を村全体に割り当てる制度
- 五人組: 年貢納入、犯罪防止に対する連帯責任制度

幕政の安定

4 代将軍 徳川家綱〔在 1651~1680〕

- 武断政治から文治政治への転換
- 末期養子の禁の緩和: 50 歳未満の大名が死の間際にとる養子を容認
- 殉死の禁止: 主人の死に殉じる戦国の遺風を廃止

5 代将軍 徳川綱吉〔在 1680~1709〕

- 文治主義の徹底
- 武家諸法度 (天和令) を発布 (1683): 「文武忠孝を励まし、礼儀を正すべき事」 以前は「文武弓馬」だった
- 儒学の奨励: 朱子学者・木下順庵に学び、湯島聖堂を建立

6 代将軍 徳川家宣〔在 1709~1712〕

- 朱子学者・新井白石を登用し、政治を刷新
- 7 代将軍 徳川家継〔在 1713~1716〕の治世を含めて、正徳の治という
- 朝幕関係の改善: 閑院宮家の創設
- 正徳小判鑄造: 貨幣価値を上げ、物価の抑制をねらう

経済の発展

農具

- 備中鍬、千歯扱、唐箕

肥料

- 干鰯・油粕などの金肥

産業

- 入浜塩田、西陣織

交通

- 五街道 (1 東海道、2 中山道、3 甲州道中、4 日光道中、5 奥州道中)
- 菱垣廻船と樽廻船、東廻り海運 (東北日本海側 津軽海峡 那珂湊 江戸) と西廻り海運 (東北日本海側 下関 大坂)

貨幣

- 三貨 (金・銀・銭) を幕府が鑄造 「江戸の金遣い、大坂の銀遣い」

天下の台所

- 大坂には諸藩の蔵屋敷が密集、蔵元・掛屋が活躍
- 三都 (江戸・大坂・京都) のうちの一つ